

令和7年度「主体的に未来を切り拓く高校生による「あおり創造学」プロジェクト事業」  
八戸高校 生徒の課題研究

1 プランの名称 八戸発見学～地元の「強み」から未来への挑戦～

2 課題研究（令和7年度研究課題 抜粋）

	テーマ名称	内容
1	不可能に挑戦する攻めの姿勢と地域への誇り	自分たちが将来働きたいと思える八戸、そして誇りを持って暮らせる八戸を実現するために、若者が地域に関わりやすくなる仕組みづくりや地元企業との連携によるインターンシップの充実、地域の魅力を発信する活動など、八戸の未来を自分たちの手でつくっていくことの提案。
2	八戸から未来を考える Connect with Innovation	八戸を「住みたい」「育てたい」と思える地域にするための、子育て・結婚・出産を支援する制度の充実と、地域資源の魅力を県内外に発信する取り組みについての提案。
3	八戸発世界へ	持続可能で心豊かな社会を実現するために、環境・経済・福祉のバランスをとった地域づくりの取り組みを通じて、人と自然が共に豊かに生きる社会の実現への提案。
4	見えない技術で未来を見つめる	八戸で事業を展開する際の課題である、人材の確保と中心市街地の空洞化を解決するために、若者や移住者が働きやすい環境づくり、地元企業と教育機関の連携による人材育成、空き店舗や空き地を活用した地域活性化プロジェクトの推進などの提案。
5	金持ちワッショイ！！～金融で八戸を豊かに～	地方では資産運用に関する認知度が関東圏に比べて低く、将来の生活設計や経済的自立に課題があり、それを解決するための、学校や地域での金融教育の充実、地元金融機関による初心者向けセミナーの開催、SNSや動画を活用したわかりやすい情報発信などを提案。
6	地域を支える企業とその技術	八戸から関西方面への物流は距離的な制約による、コストや時間の面で課題を解決するための提案。